



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校
2026年2月6日第27号(130号)

ーたくましく生きる子どもの育成ー

6年 思春期講演会 開催 ～1兆400億分の1の奇跡～



命の大切さを知る講演



オムツ装着体験

1月27日(火)、助産師の斎藤葉子先生を講師にお招きして、思春期講演会を開催しました。この講演会は、6年生を対象に、命の大切さや思春期特有の悩みや体の変化等を学ぶために実施しています。今年度も保護者の方々にも呼びかけ、子供たちと一緒に参加をしていただきました。子供たちは、命の尊さの座学の後、体験学習として妊婦さん体験やオムツの装着体験、誕生体験をしました。

特に、赤ちゃんのオムツ装着体験では、紙オムツを上手に取り付けることができず大変苦労していました。しかし、近くで参観していた保護者の方がやさしく手を貸しくださいり、何とかオムツを付けることができました。さらに、妊婦体験では、妊婦体験装着具(約5kg)をつけて、障害物を乗り越えたり、靴下を履いたりする体験をして、妊婦さんの大変さを身をもって感じていました。

この学習を通して、自分自身がこの世に生まれてきたことは、奇跡に近い出来事(遺伝学や生物生殖学によれば自分自身が生まれてくる確率は、条件にもよりますが**1兆400億分の1**だそうです)だったこと、そのような奇跡的に授かった命を大切にしなければならないこと、そして今育ててくれている自分の親やその周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れてはいけないことを学ぶことができました。お忙しい中、参加していただいた保護者の皆様には、感謝申し上げます。

児童会引継ぎ式並びに任命式



1月30日（金）、令和8年度の多古第一小学校児童会の引継ぎ式並びに任命式を行いました。

新児童役員への任命書授与後、新旧の児童会役員の挨拶がありました。令和7年度の役員からは、役員をすることで自分自身が成長したことや協力してもらったことへの感謝の言葉がありました。本当に学校をよくするためによく頑張った8人でした。また、新役員からは、協力して頑張ることの誓いの言葉がありました。本校の校訓である「ほんきであれ」を胸に、多古第一小学校の発展のために新役員の8名（当日1名欠席）も全力で頑張ってくれることを期待しています。なお、新役員は以下のとおりです。（敬称略）

＜5年生＞4名

＜4年生＞4名



感染症の予防について

近隣の学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が数多く行われています。学校では、手洗い・うがい、換気、体調確認など、基本的な予防を継続して指導しています。ご家庭におかれましても、十分な睡眠やバランスのよい食事、発熱時の早めの休養にご協力ください。一人一人の心がけが、学校全体の安心と安全につながります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。